



浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第5回：8月20日～23日、  
東京会場第6回：9月3日～6日、  
大阪会場第1回：8月20日～23日、  
大阪会場第3回：9月3日～6日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々47名（東京会場第5回14名、東京会場第6回14名、大阪会場第1回8名、大阪会場第3回11名）の参加を得て、東京都水道局研修・開発センター（東京会場）、大阪市水道局体験型研修センター（大阪会場）の訓練用設備を利用して、実際にポンプ実流試験装置を使った実習等、機器類の運転・操作を体験するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。なお、大阪会場第2回については、台風10号の影響により中止となった。

#### 新任水道事業管理者研修会（8月21日～23日）

新たに就任された水道事業管理者及び管理者を補佐する立場にある方々41名の参加を得て、研修会を実施した。

本研修会では、「水道行政の動向」、「水道経営と料金のあり方」、「水道事業における労働法体系並びに労務管理」、「水道事業と争訟」、「水道事業における情報セキュリティ対策」、「水道における災害時相互応援体制－日本水道協会による「地震等緊急時対応の手引き」の意義と活用について－」、「水道事業における危機管理」について、それぞれ造詣の深い講師より講義が行われた。

また、本研修会開講にあたり、本協会を代表して青木理事長よりご挨拶を申し上げ、その後、「今だからこそ重要な広報」について講演した。

また、研修会初日には特別講演として、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻の滝沢智氏により「水道事業管理者に必要なトップマネジメント」について講演が行われた。

また、研修会初日には、講義の他にもグループ別ディスカッション、意見交換会を実施した。グループ別ディスカッションでは「水道料金改定、財源確保」等について情報交換が行われ、その後の意見交換会においても活発な意見交換が行われた。

### 第31回営業業務専門委員会（8月23日）

はじめに、審議事項として「委員長・副委員長の互選について」を上程し、委員長には、これまで副委員長であった福岡市水道局総務部営業企画課長の小山委員を、このことにより空席となった副委員長には、名古屋市上下水道局経営本部営業部営業課長の菌黒委員をそれぞれ選任した。



次に、情報交換事項として、「①eLTAX導入への対応について」、「②共同住宅における親メーターと子メーター間の差水の取り扱いについて」、「③通知等の電子化について」、「④過誤納金還付の相手方が水道使用者と異なる場合の取扱規定の有無について」、「⑤適格請求書等保存方式（インボイス制度）への対応について」、「⑥指定納付受託者制度の運用について」、それぞれ意見・情報交換が行われた。

最後に、事務局より、①令和6年能登半島地震における日本水道協会の対応について、②情報発信スキルアップセミナー実施報告、③水道賠償責任保険のサービス拡充についてそれぞれ報告した。

### 第197回水道 GLP 認定委員会（8月27日）

水道 GLP 認定について審議した結果、八戸圏域水道企業団（JWWA-GLP031）の認定更新を決定した。

また、株式会社日本環境技術センター（JWWA-GLP059）、株式会社環境公害センター（JWWA-GLP061）、松山市公営企業局（JWWA-GLP062）、日本衛生株式会社（JWWA-GLP106）及び一般社団法人京都微生物研究所（JWWA-GLP136）の認定維持を決定した。

### 未納料金対策実務研修会（東京会場第2回：8月29日～8月30日、

大阪会場第2回：9月5日～6日）

水道料金徴収業務に携わる方々74名（東京会場第2回：36名、大阪会場第2回38名）の参加を得て、未納料金対策（給水停止、支払督促等）について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションでは、「未納発生を予防する対策」等について活発な情報交換が行われた。

#### 第4回水道施設設計指針改訂特別調査委員会（9月2日）

冒頭、青木理事長、滝沢委員長から開会挨拶があった。

この後、滝沢委員長の進行の下、「今後の改訂スケジュール」、「最終原稿」について審議し、了承された。本指針改訂版の発刊は2024年度内を予定している。



#### 第784回抄録委員会（9月3日）

本誌12月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。



#### 令和6年度第2回運営会議（9月4日）

本協会の青木理事長が議長となり、報告事項1「令和6年度水道関係予算の概算要求」について、国交省、総務省から説明があったのち、報告事項2「東日本大震災被災地への復興支援」、報告事項3「下水道展'24東京への出展」、報告事項4「令和6年度全国会議（神戸市）特別講演及び水道PRブースの設置」、報告事項5「令和6年度水道イノベーション賞」、報告事項6「令和6年度情報発信スキルアップセミナー」、報告事項7「令和5年度水道賠償責任保険等の実績及び水道賠償責任保険のサービス拡充」、報告事項8「水道協会雑誌及び水道研究発表会講演集のデジタル化」について事務局から報告があった。



続いて、第1号議案「令和7年度水道関係予算等の要望」、第2号議案「公益社団法人日本水道協会第105回総会における会員提出問題」、第3号議案「令和7年度全国会議の開催地」

がそれぞれ上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、地元選出国會議員、財務省等に対し陳情を行った。



財務副大臣 矢倉参議院議員への陳情



自由民主党国土・建設関係団体委員会副委員長  
泉田衆議院議員への陳情



自由民主党水道事業促進議員連盟事務局長  
務台衆議院議員への陳情



公明党上水道・簡易水道整備促進議員懇話会  
幹事長 横山参議院議員への陳情

#### 配管設計講習会（関東会場第2回：9月4日～9月6日）

水道事業体及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者の方々52名の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。